



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい (新築) | 使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	大阪市中央区高津1丁目PJ	
建設地	中央区高津1丁目	
建物用途	共同住宅	
建築主		
設計者		
竣工年	2028年1月 予定	
構造/階数	RC造 / 地上15階	
敷地面積	353.89 m ²	
建築面積	215.10 m ²	
延床面積	2900.75 m ²	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

B- **BEE = 0.7** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

	建設	修繕・更新・解体	運用	オンサイト	オフサイト
①参照値	100%				
②建築物の取組み	99%				
③上記+②以外のオンサイト手法	99%				
④上記+オフサイト手法	99%				

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.7**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

項目	スコア
音環境	3.0
温熱環境	2.5
光・視環境	3.1
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

項目	スコア
機能性	2.5
耐用性・信頼性	2.9
対応性・更新性	3.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

項目	スコア
生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	2.0

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 2.8**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

項目	スコア
建物外皮の熱負荷	3.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	2.3
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

項目	スコア
水資源保護	2.2
非再生材料の使用削減	3.3
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

項目	スコア
地球温暖化への配慮	3.0
地域環境への配慮	2.3
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 ・特になし。		その他 ・特になし。
Q1 室内環境 ・F☆☆☆☆建材を積極的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染の回避に努めた。	Q2 サービス性能 ・置床ユニットやCD管・PF管を採用し、構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく更新・修繕ができるよう配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) ・敷地周りに視線を遮るような高い塀等は設けないことで、防犯性に配慮した。
LR1 エネルギー ・LED照明を採用し省エネルギーに努めた。	LR2 資源・マテリアル ・部材の再利用に配慮した。	LR3 敷地外環境 ・特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.7

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.0 特になし
配慮事項	特になし	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0 特になし
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0 建築設備に伴う排熱の位置に配慮
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	2.0 気象データにより風環境を把握
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0 断熱材を採用
配慮事項	・断熱材を採用し、断熱性に配慮した。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		2.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.3 LED照明を採用
配慮事項	・LED照明を採用し省エネルギーに努めた。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	等級4 (相当)	-
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	0.97	-